

第1160回放送分『感染症』4回目

ゲスト：川村 英樹ドクター

二見いすず

今月のドクタートークは

「感染症」をテーマにお送りしています。

お話は、鹿児島県医師会 川村英樹（かわむら ひでき）ドクターです。

川村さん、最終週もよろしくお願いいたします。

川村英樹Dr.

よろしくお願いいたします。

二見いすず

先週はインバウンド感染症についてお話しいただきました。

鹿児島にも外国人観光客のみなさんが多く訪れますし、

今年は大阪・関西万博もあるため、例年以上にインバウンド感染症、

はしかや髄膜炎菌感染症、インフルエンザなどに

気をつけた方がいいということでした。

今日は何についてお話しいただけますか？

川村英樹Dr.

今日は、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）についてお伝えします。

二見いすず

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）ですね。

これはどのような感染症なのでしょうか？

川村英樹Dr.

SFTS ウイルスを保有しているマダニにかまれることにより感染するものです。

二見いすず

「マダニにかまれて」というニュースは時折耳にしますが、

この SFTS ウイルスを保有しているマダニに刺されると

どのような症状が出るのでしょうか？

川村英樹Dr.

主な症状は発熱・頭痛・倦怠感と嘔吐下痢が中心ですが、まれに肺や腎臓が機能しなくなってしまう、重症化することがあります。高齢者だと重症化しやすいので注意が必要です。
診断された方の約3割がお亡くなりになっており、
コロナの重症化よりも多いとされています。

二見いすず

それは非常に怖いですね。かまれたら症状はすぐに出るものなののでしょうか？

川村英樹Dr.

すぐには症状は出ません。潜伏期間が6日から2週間ほどあります。

二見いすず

対策として「草むらに半袖で入らないようにする」というのをよく聞きますが、
他にどんなことに気をつけたらいいのでしょうか？

川村英樹Dr.

おっしゃるとおり、もし草むらに入る場合は、長袖長ズボン、
足を完全に覆う靴を履いて、肌の露出を少なくすることが大切です。
また犬・ネコなどの動物が感染することもあるため、屋外にいる体調不良の動物に咬まれた場合も注意してください。

二見いすず

分かりました。
もし診断された場合は、どのような治療を行うのでしょうか？

川村英樹Dr.

症状にあわせた治療を行いますが、症状の進行が予期される場合は抗ウイルス薬のファビピラビルを使って治療することも検討します。
こちらは去年、治療薬として承認されました。

二見いすず

そうなんですね。夏休みに入ると、キャンプや植物採集などで
普段よりも自然の中で過ごす機会も増えると思います。
お子さんたちもしっかり対策をして、
そして高齢者の方は重症化しやすいとのことなので、
十分に気をつけてください。
今月は、「感染症」をテーマに鹿児島県医師会 川村英樹ドクターに

貴重なお話をしていただきました。
川村さん、ありがとうございました。

川村英樹Dr.

ありがとうございました。